



ハスの葉のえの切り口に、レンコンそっくりの穴があるのはなぜ

水の中では、空気が不足する

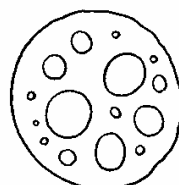
水草は、水面に葉を広げているものでも、植物の体の大部分は、水の中につかっています。植物も、呼吸をするために空気が必要です。まわりは水なので、水には不自由しないのですが、空気に不自由します。そのため、水草は、体の中に空気をためたり、空気の通り道をもっているものが多いのです。

ハスの葉のえは、空気の通り道の穴があいています。レンコンは、ハスの土の中にのびた地下けいに、冬ごしのための栄養分が、たくわえられたものです。ハスは、葉のえから地下けいまで、空気の通り道ができています。スイレンの葉のえも、同じように、空気の通り道の穴があいていて、空気がつまっています。

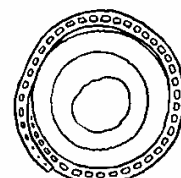
水草は、空気の入ったすき間をもっているものが多い

水草は、葉の裏側や葉のえなどに、細かいすき間のあるものが多く、すき間に空気がたくさんつまっていて、うきぶくろの役目をするとともに、空気が不足しないためにも役立っています。ハス以外の水草のくきや葉にも、空気の通り道があるものが多いので、水辺に行ったら、いろいろ切って調べてみましょう。

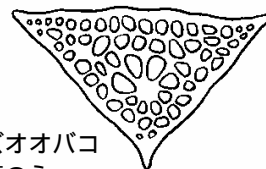
ガマやヨシなども、根が水中にあることが多いため、くきを切ってみると、穴やすき間がたくさんあって、空気の通り道ができていますのわかります。（監修・矢野 亮）



ハスの葉のえ



ヨシのくき



ミズオオバコ
の葉のえ

空気の通り道がある切り口

